



発行 平成22年3月25日

“ひろしまそだち” だより

“ひろしまそだち”地産地消推進協議会

事務局 財団法人広島市農林水産振興センター

739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30-12

TEL(082)845-4770 FAX(082)842-2149

第16号

<http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/>

「食」に対する社会的な関心が高まるなか、安全・安心な農産物を市民に供給するために、生産段階から消費段階にわたる安全・安心の確保や理解促進の取組みが重要になっています。

このため、産地交流会の開催をはじめ、生産者による小学校での食農体験活動支援や公民館野菜料理教室での食材PRなどを積極的に行うとともに、食農体験行事を企画・実施する市民ボランティア「食農コーディネーター」や、食のイベントや料理教室などで市民への広報活動を行う「野菜アドバイザー」の人材育成に取り組むなど、“ひろしまそだち”製品の「PR活動」や消費者と生産者をつなぐ「交流活動」を推進しています。

また、生産面では、「ひろしまそだち栽培指針」に基づく農家指導を行い、農産物の安全・安心の確保に向けた「環境にやさしい農業」を推進しています。

今後とも、生産から流通・消費まで一体となった信頼づくりによる地産地消の推進に、皆様のご支援・ご協力をお願いします。

“ひろしまそだち”地産地消推進協議会

会長 中ノ殿 潔

〔(財)広島市農林水産振興センター 農林部長〕

“ひろしまそだち”ブランドの確立

“ひろしまそだち”製品のPR



公民館料理教室

“ひろしまそだち”野菜アドバイザーが 公民館の料理教室などで製品PR

現在21名の“ひろしまそだち”野菜アドバイザーが広島市から認定され、ラジオや公民館での料理教室などで“ひろしまそだち”製品のPRをしました。

—“ひろしまそだち”とは—

広島市内の生産者が生産した農林水産物及びその加工品の総称です。これらの生産振興、「おいしさ」など消費者ニーズに対応する産品開発、生産・流通・消費の交流と連携で築かれる信頼関係による「市内産・新鮮・安心」の“ひろしまそだち”ブランドの確立を図るとともに、食と農の結びつきや環境問題など社会的要請に応えることのできる地産地消の推進を行います。

安全・安心の向上

生産者が公民館料理教室でPR

今年度は、のべ10か所の公民館の料理教室に、地元直売所の代表者が、自慢のほうれんそうなど新鮮・安全・安心な産品を持参して、PRするとともに、入手方法などの情報を紹介しました。



五日市中央公民館



佐東公民館



馬木公民館

公民館	生産者グループ	公民館	生産者グループ
佐東公民館	JA 交流ひろばとれたて元気市	大河公民館	ひろしま朝市
馬木公民館	馬木生活研究グループ	五日市中央公民館	五日市農事研究会
安佐公民館	JA 青空市場部会	東野公民館	川内六丁目直売所
高陽公民館	よがんす可部	矢野公民館	海田サティインショップ
真亀公民館	かるが朝市	吉島公民館	きんさい湯の山

“ひろしまそだち”サポーター募集開始

地産地消に関心がある市民を“ひろしまそだち”サポーターとして登録し、地産地消や“ひろしまそだち”を理解してもらい、その普及や消費拡大を図ります。

2月末で約110名の登録があります。

食のイベントで“ひろしまそだち”産品をPR

7月4日の『BUYひろしま・地産地消イン旧市民球場』と10月24・25日の『ひろしまフードフェスティバル』に市内直売所や生産者グループが出店し、“ひろしまそだち”産品を使った料理の試食やレシピの提供、産品の販売を通じて来場者にPRしました。



BUYひろしま・地産地消イン旧市民球場



ひろしまフードフェスティバル

“ひろしまそだち”信頼性の向上

“ひろしまそだち”産地交流会の開催

スイートコーン



収穫・調整体験

8月29日(土)
安佐南区沼田町
参加者33名

さといも



収穫・調整体験

10月31日(土)
安佐北区可部
参加者32名

収穫から荷作りまでの農業体験や収穫した野菜を使った調理体験などを通して「食」と「農」の理解を深め、生産者と消費者との信頼関係を高めました。

「食」と「農」を結びつける取組み

学校の農業体験活動を支援します



皆実小学校



段原小学校



温品小学校

市内小学校のべ17校の食育推進授業の支援に、生産者や食農コーディネーターが出向き、水稻や野菜の作り方や食の大切さを伝えました。

先生方からも体験した子供達が育てることと食べることに強く興味を持つようになったとの言葉をいただきました。

食農コーディネーターの活動

現在15名の食農コーディネーターが広島市から認定され活動しています。

7月31日と8月1日に、女性教育センターで開催された、「夏休みEAT&ARTプログラム」の講師を務め、参加した子供たちに、食の大切さや野菜のおいしい食べ方など、わかりやすく話しました。

また、2月24日には、二葉公民館で、「米粉料理教室」の開催を企画・運営し、市民に食の大切さやそれを支える農業の大切さを伝えました。



夏休みこども食農教室



米粉料理教室

環境にやさしい農業の推進

エコファーマー認定を支援します。

エコファーマー基準

- 1 農地の生産力の維持増進を図るための土づくり
- 2 化学肥料(窒素成分)の使用（慣行栽培の概ね20%減）を低減
- 3 化学合成農薬の使用（慣行栽培の概ね20%減）を低減

“ひろしまそだち”は、環境にやさしい農業を推進します。

平成22年3月現在、34戸の生産者がエコファーマーの認定を受け、環境にやさしい農業に取り組んでいます。